



## リハビリテーション臨床・研究国際シンポジウム 2024 プログラム 「障害者の生涯に渡るリハビリテーション」

日時： 2024年11月22日（金）13:00～16:45

会場： 国立障害者リハビリテーションセンター 本館1階講堂

時間	発表	登壇者
13:00-13:05	5分 開会挨拶	芳賀 信彦（国立障害者リハビリテーションセンター 総長）
<b>【基調講演】 障害者の生涯に渡るリハビリテーション</b> 座長：世古 裕子（国立障害者リハビリテーションセンター学院 学院長）		
13:05-13:30	25分 障害者に対する継続的なリハビリテーション – 日本における現状と展望 –	芳賀 信彦（国立障害者リハビリテーションセンター 総長）
13:30-13:55	25分 脊髄損傷児に明るい未来を – 脊髄損傷児の入院後の機能的自立の転帰に影響する因子に基づく継続的リハビリテーションプログラマー	チン・シュウ（中国リハビリテーション研究センター 教授、一般外科部長）
13:55-14:20	25分 障害者の生涯に渡るリハビリテーションの枠組み	カン・ユン・ギョ（韓国国立リハビリテーションセンターセンター長）
14:20-14:30	10分 質疑応答	
14:30-14:40	10分 休憩	
<b>【セッション1】 継続的なリハビリテーション：臨床アプローチ</b> 座長：仲村 一郎（国立障害者リハビリテーションセンター病院 病院長）		
14:40-14:55	15分 退院準備と地域に根ざしたリハビリテーション	イ・ワンジェ（韓国国立リハビリテーションセンター 理学療法・作業療法部 主任）
14:55-15:10	15分 当センターにおける四肢切断の現状と課題	近藤 怜子（国立障害者リハビリテーションセンター病院 整形外科医長）
15:10-15:25	15分 脊髄損傷児の下肢機能回復のためのロボットを用いた歩行訓練の効果	チー・チャン（中国リハビリテーション研究センター 教授、小児理学療法部長）
15:25-15:35	10分 質疑応答	
15:35-15:45	10分 休憩	
<b>【セッション2】 継続的なリハビリテーション：研究の観点から</b> 座長：硯川 潤（国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部長）		
15:45-16:00	15分 リハビリテーション療法におけるブレイン・コンピュータ・インターフェイスに基づく能動的リハビリテーション訓練システムの応用と展望	フビオ・ホァン（中国リハビリテーション研究センター 作業療法部長）
16:00-16:15	15分 脊髄損傷に関する様々な分野における臨床研究	キム・オンユ（韓国国立リハビリテーションセンター 脊髄損傷リハビリテーション部長）

16:15-16:30	15分	身体運動による健康維持・増進効果の分子機序解明に基づく、慢性疾患・障害に対する極めて汎用性が高く革新的でありながら持続可能なリハビリテーション介入法の開発	澤田 泰宏（国立障害者リハビリテーションセンター病院 臨床研究開発部長）
16:30-16:40	10分	質疑応答	
16:40-16:45	5分	閉会挨拶	阿久根 徹（国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局長）

総合司会： 愛甲 健（国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部長）

言語： 日本語、英語（同時通訳あり）